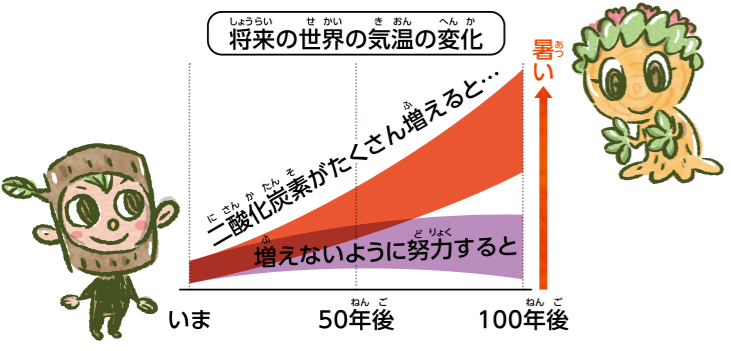


木には不思議なチカラがある。みんなで木を使って、地球を守ろう



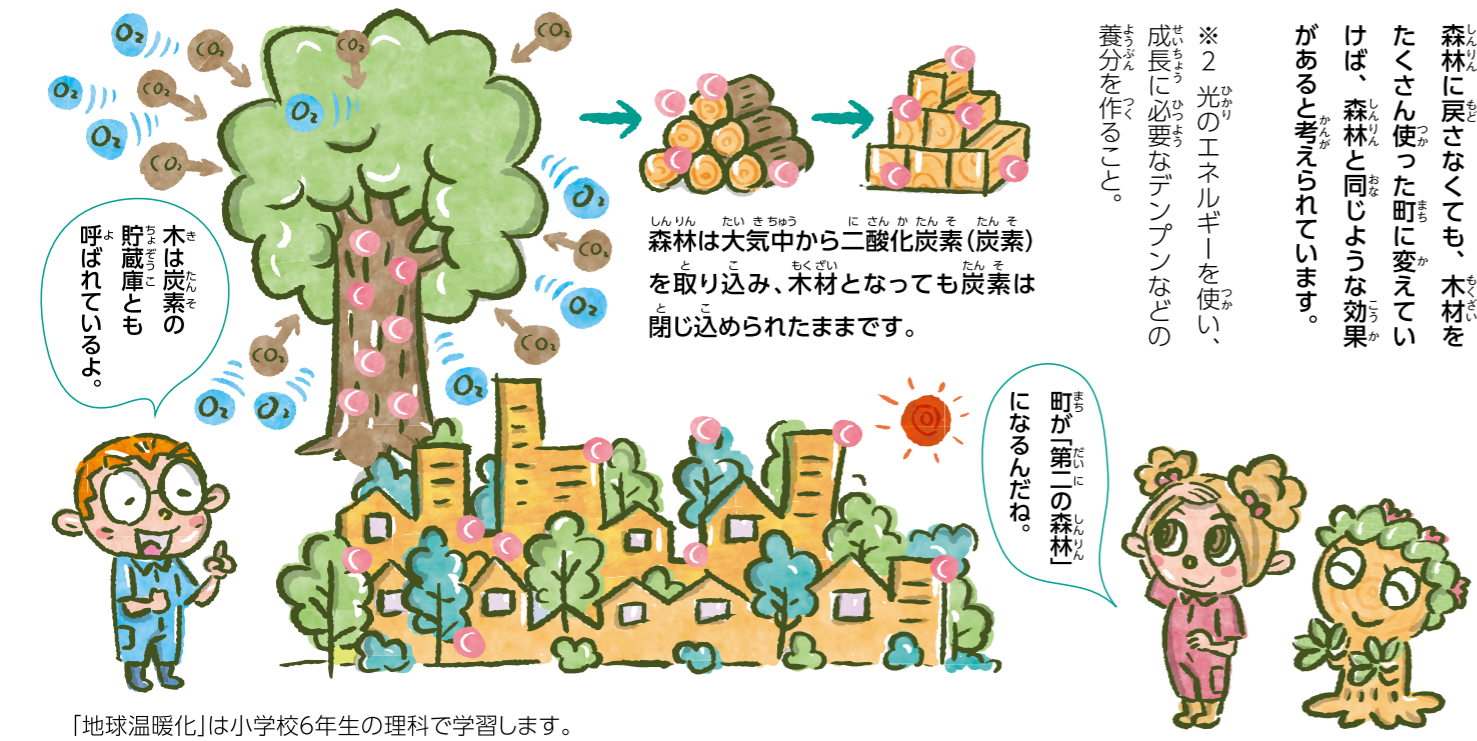
【木のチカラその②】
二酸化炭素を減らす
 今、わたしたちの暮らす地球が、どんどん暑くなっています。もっと暑くなれば、動物や植物が生きていくうえで、大きな影響を与えます。このように気温が上がっていくことを「地球温暖化」といいますが、地球温暖化に最も大きな影響を与えているのは、二酸化炭素だといわれています。

ハイキングに行くとき、すがすがしい気分になるもんね。

森の空気には、おいしい酸素がたくさん詰まっています。

取り入れられた二酸化炭素は、酸素と炭素に分解され、炭素は木の体の中にたくわえられます。木を森から伐り出して建築や製品の材料にした後も、炭素は木に閉じ込められたままです。つまり、本当の

木も、動物と同じように呼吸をするので、酸素を吸い、二酸化炭素を出します。でも、光合成(※2)によって、二酸化炭素を取り入れて酸素を出すはたらきもしています。太陽の光を受けている層間は、木が吐き出す酸素の量は吸った酸素の量よりも多くなります。



「地球温暖化」は小学校6年生の理科で学習します。

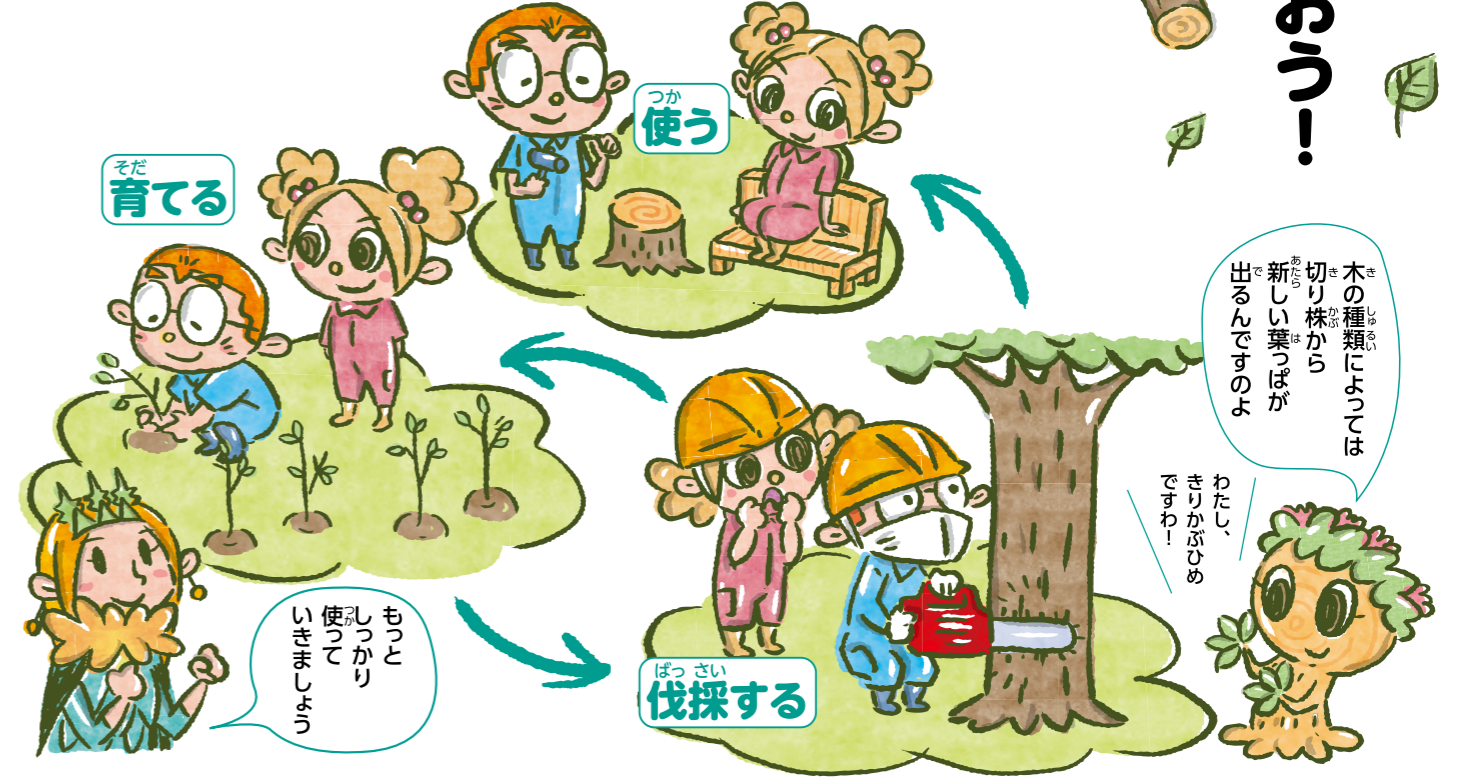
木にはすごいチカラがある。使っても、使っても、再生産できる

【木のチカラその①】
伐っては植えて、再生産できる
 石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料(※1)は、今のまま使いつづければ、いつか無くなってしまいます。なぜなら、量に限りがあり、資源そのものを再生産することができないからです。
 木は、伐ったらその分をまた植えて育てることができ、それを繰り返すことで、半永久的に再生産できる持続可能な資源です。
 また、木材は、鉄やアルミニウムと比べ、製造や加工に必要なエネルギーがとんでも少なくて済みます。さらに、柱や板から木質ボード、紙、木質バイオマスエネルギーなど

の燃料といったように、形を変えながら何度も段階を踏んで利用することができ、再利用しながら繰り返し使うということは、ごみとして燃やす際に生じる環境への負荷を減らしています。

※1 石炭や石油、天然ガスのように地面を掘って取り出す燃料のこと。

木を育て、使い、森林の循環をつくることとは、SDGsにも貢献しています。



もっともっと木を使おう!

